

市議会だより

第156号



田来原の森をつくる人たち

(写真左から、源流の森づくり代表の霧野貴士さん、田来原に移住した矢野雅弘さん、老松生産森林組合長の梶原和廣さん)

もくじ

- 第3回定例会で審議した議案とその結果など … P 2～P 3
- 市政に反映、皆さんの声(一般質問) … P 4～P 12
- 各委員会の議案等の審査結果、議会の動きなど … P 13～P 16
- 令和8年こども議会体験会開催及び申込開始のお知らせ … P 17
- インタビュー、編集後記 … P 18

令和7年 第3回(9月)定例会

9/4 ~ 9/25 22日間

本定例会では、条例の一部改正、令和7年度一般会計補正予算など、21件の議案について審査を行い、次のとおり決定しました。

■ 本定例会で審議された議案とその結果

議案番号	件 名	議決結果
議案第59号	日田市議会議員及び日田市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	原案可決(全会一致)
議案第60号	日田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	//
議案第61号	日田市職員の勤務時間及び休日休暇等に関する条例の一部改正について	//
議案第62号	日田市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	//
議案第63号	工事請負契約(令和7年度日田市緊急災害対策ポンプ施設機械設備工事)の締結について	//
議案第64号	工事請負契約(三和団地A棟改修建築主体工事)の締結について	//
議案第65号	専決処分(令和7年度日田市一般会計補正予算(第2号))の承認について	原案承認(全会一致)
議案第66号	令和7年度日田市一般会計補正予算(第3号)	原案可決(全会一致)
議案第67号	令和7年度日田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決(多数)
議案第68号	令和7年度日田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	//
議案第69号	日田市教育委員会教育長の任命について	原案同意(全会一致)
議案第70号	日田市教育委員会委員の任命について	//
議案第71号	人権擁護委員の推薦について	//
認定第1号	令和6年度日田市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査(全会一致)
認定第2号	令和6年度日田市公営企業会計決算の認定について	//
請願第4号	インボイス制度の中止を求める意見書の提出を求める請願	採 択(多 数)
請願第5号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出に関する請願	採 択(全会一致)
意見書案第3号	インボイス制度の中止を求める意見書	原案可決(多数)
意見書案第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決(全会一致)
議員提出議案第6号	日田市議会決算審査特別委員会の設置について	//
議員提出議案第7号	議員派遣の件について	//

令和7年第3回定例会 賛否の状況

議 案 番 号	議 決 結 果	賛 否		会派名等、議員名及び賛否の別 ※ 1																					
				市政クラブ						新世ひた				市民クラブ				日本共産党		公明党		無所属			
		賛	反	原田 裕文	財津 幹雄	岩見 泉哉	梅原 竜也	宮崎 陽治	中原 晴剛	崎尾 亮介	居川 太城	石橋 邦彦	坂本 盛男	三 苦 誠	佐藤 孝彰	井上 正一郎	溝口 千壽	梶原 信幸	中島 章二	今井 美保	日隈 知重	大谷 敏彰	松野 勝美	坂本 茂	高倉 貴子
議 案 第67号	可決	19	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
議 案 第68号	可決	19	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
請 願 第 4 号	採択	16	5	●	○	○	○	○	○	○	○	●	※2	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
意見書案第3号	可決	16	5	●	○	○	○	○	○	○	○	●	※2	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○

※1 「○」は賛成、「●」は反対(不賛成)を表します。

※2 議長(三苦誠)は、可否同数のとき又は特別多数議決のとき以外は表決に加わりません。

令和7年第3回定例会 賛否の主な討論の内容

■ 議案第67号 令和7年度日田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)及び

議案第68号 令和7年度日田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (反対討論)

両議案は、「子ども・子育て支援金制度」の創設に伴うシステム改修費用を計上するものであるが、令和8年度に創設される「子ども・子育て支援金制度」は、その財源を、国民健康保険、後期高齢者医療保険、被用者保険に加入する庶民に求めるものとなっており、そもそもの制度設計自体が間違っている。子ども・子育て支援の財源は本来、国が捻出すべきものだと考えられるため、両議案に反対するもの。

■ 請願第4号 インボイス制度の中止を求める意見書の提出を求める請願について (賛成討論)

インボイス制度の目的は、消費税の透明化と公平化だと言われているが、すべての事業者が同じように負担できるわけではない。制度に対応するための準備や事務手続きは、小規模事業者にとって非常に大きな負担である。税の仕組みは、それぞれの立場に合わせて考えることが必要だと考える。すでに、インボイスの登録をした事業者も制度に従わざるをえない状況で、システム改修などに多くの経費をかけているが、経費をかけられない事業者が排除されるような制度は問題である。地域で懸命に働いている事業者や個人が、安心して仕事を続けられる環境を守る必要があることから、当該請願に賛成するもの。

■ 請願第4号 インボイス制度の中止を求める意見書の提出を求める請願について (反対討論)

インボイス制度は、事業者間の取引における消費税額を正確に把握し、より公平な税制を実現するために必要な制度である。令和5年10月1日の制度開始から、多くの事業者が、システム改修などを行っており、制度が廃止された場合には、すでに導入されている業者間に混乱が生じ、経済活動にも支障をきたすことが考えられる。制度の廃止ではなく、今ある制度を生かしつつ、現場に寄り添った運用改善や、わかりやすい制度設計の検討が必要と考えるため、当該請願に反対するもの。

■ 意見書案第3号 インボイス制度の中止を求める意見書 (反対討論)

インボイス制度が施行されて、丸2年が経ち、多くの事業者が対応しているため、今この制度を廃止すれば、さらなる混乱を招く。税金とは、社会の会費のようなもので、みんなで社会を支え、よりよい社会を築くために必要な経費を、公平に分かち合うというものである。よって議論すべきは、インボイス制度よりも、その前段にある消費税制度そのものについてであると考えことから、当該意見書案に反対するもの。

■ 意見書案第3号 インボイス制度の中止を求める意見書 (賛成討論)

2023年10月1日からインボイス制度が導入され、これまで売上1千万円未満の免税事業者が、取引先からインボイスの発行を求められることや、インボイスの登録や課税が事実上強制されていることから、インボイスを発行できない事業者との取引を避ける動きが広がり、当該事業者が市場から排除される状況も出ていること、さらに、今日の物価高騰で多くの小規模事業者、個人事業者は利益確保が難しくなっている上に、インボイス登録による消費税の納税負担まで増えて営業と生活がますます厳しくなっていることなど、厳しい地域経済状況の中で、頑張る地場中小企業の切実な声をしっかりと受けとめ、その声を国に届けることは、市議会の重要な役割だと考えることから、当該意見書案に賛成するもの。



令和7年第3回定例会では、9月10、11、12日の3日間にわたり、一般質問が行われ、17人の議員が諸問題について質問しました。それぞれの質問の中から、その要旨をお知らせします。

質問 訪問介護の基本報酬が引き下げられたことによる事業所の影響について、どのように把握しているのか。

市長 訪問に係るコストが国の加算では十分に評価されており、中心部と比べ、訪問介護事業所の経営が大変厳しい状況にあると承知している。

質問 事業運営の厳しい事業所の存続支援を求める。

市長 全国で等しく必要なサービスを受けられることは、国の責任において保障すべきものと考えている。



地域での介護予防事業

質問 自治体の役割として、独自支援は考えられないか。

部長 国・県による新たな事業に関する情報提供や支援活用に向けた相談には丁寧に対応し、事業の効果についても注視していく。

一般質問

質問

訪問介護の重要性をどのように評価しているのか？

回答

訪問介護とその事業所は、介護保険制度の根幹を支える重要な存在である



市民クラブ

梶原



信幸 議員

議会をご覧になりませんか

会議は、公開を原則としていますので、どなたでも傍聴することができます。車いす(3台分)での傍聴もできます。
皆さんのお越しをお待ちしています。



一 般 質 問

質問

生活保護利用者の生活実態をつかんでいるのか？

回答

保護申請は月10件超え、生活相談は6月から200件超えである



日本共産党

日隈



知重 議員

質問 生活保護利用者は電気料を抑えるためにエアコンの使用を我慢する危険な実態がある。生活保護利用者の生活実態をつかんでいるのか。

部長 生活保護の申請件数は一桁で推移していたが、最近では10件を超え、7月は17件と極めて高い。生活困窮の相談は6月から200件を超えている。ケースワーカーが生活保護利用者を訪問し、食費が高いとの声を聞いている。

質問 男性が今年6月、かかりつけ医から「毎日リハビリ治療が

必要」と言われ、福祉支援課に相談。担当者は「国の通知で月15日以上の治療はできない」と説明。男性は治療を諦めている。国のガイドラインに基づく説明をしたのか。

部長 本来は、丁寧に聞き取り主治医に確認すべきだった。今後は、丁寧な対応に努めるよう指導を徹底したい。

部長 児童家庭支援センター「陽」については、大分県が国庫助成の活用を含めて検討中であり、子ども第三の居場所「日田ひなた拠点」の運営については、市として運営継続に関わる。

質問 ひたはしり号について、



一 般 質 問

質問

「日田ひなた拠点」の運営費助成をどう考えるか？

回答

県と連携し運営継続に関わる



市政クラブ

原田



裕文 議員

質問 子ども第三の居場所「日田ひなた拠点」と児童家庭支援センター「陽」の運営については、日本財団の助成で運営をされているが、令和7年度末で助成が終了となる。令和8年度以降どのように、市として施設の運営に関与するのか伺う。

部長 児童家庭支援センター「陽」については、大分県が国庫助成の活用を含めて検討中であり、子ども第三の居場所「日田ひなた拠点」の運営については、市として運営継続に関わる。

部長 児童家庭支援センター「陽」については、大分県が国庫助成の活用を含めて検討中であり、子ども第三の居場所「日田ひなた拠点」の運営については、市として運営継続に関わる。

質問 ひたはしり号について、

質問 ひたはしり号について、

Bコースの延伸要望があるが、延伸の可能性はあるか。

部長 現時点では難しいが、今回の利便性増進計画の中で、地域事情にあった交通網の再編を検討をしたい。

質問 地域公共交通への延伸要望に対して、地域への公平性を期すために、市として明確な延伸基準を設けるよう要望する。





一般質問

質問

こども総合局(仮称)の創設は間に合うのか?

回答

予定に沿って進んでいる。スタートラインとしての認識であり、創設以降も適宜充実強化を図る



市民クラブ

中島



章二 議員

質問 こども総合局(仮称)創設

へのスケジュールについて伺う。

副市長 子ども、若者、学校関

係者からの意見等も踏まえ12月

を目処に組織機構の案を作る。

令和8年4月創設は、スタート

ラインとの認識で、創設後も必

要に応じて適宜見直しを行い、

充実強化を図っていく。

質問 総合局の専門職員の配置

をどのように考えているのか伺

う。

部長 子ども総合局(仮称)が効

果的な相談機能を発揮するため

には、専門職員の配置が必要と

考えており、今後プロジェクト

チームで議論していく。

質問 こども総合局(仮称)創設

に向けての市長の考えを伺う。

市長 どのような組織体制が適

切であるか、最も機能するの

は、プロジェクトチームの報告

を受け決定していく。

質問 その他、「災害時に命を守

る対策について」を質問した。



一般質問

質問

アレルギー対応給食の提供について、市の考えを伺う

回答

検証を行い、安全な除去食の提供に努めていきたい



市政クラブ

中原



晴剛 議員

質問 学校給食のアレルギー対

応食の提供について、安全確保

に向けた計画を伺う。

教育次長 卵と乳製品を取り除

いた除去食の提供を令和8年1

月から開始するよう準備してい

る。また、調理場や学校現場向

けの対応マニュアルの整備や、

安全のためのチェックシートを

作成し、学校現場や委託業者と

内容の最終調整を現在行ってい

る。

質問 提出書類が必要になって

くると思うが、煩雑さや保護者

の負担について市の考えを伺う。

教育次長 家庭から提出しても

らう書類は1枚を想定している。

質問 アレルギー反応が出た場

合の備えについて伺う。

教育次長 医師の指導の下、保

護者、学校と協議し、対応を検

討している。また、危機管理マ

ニュアルでアナフィラキシー症

状への対応準備を進めている。



一般質問

質問

児童・生徒の認知機能を育てるワークシートを、通常学級でも活用できないか？

回答

現在の活用状況や活用方法、効果等について情報を収集していく



市民クラブ

今井



美保 議員

質問 特別な支援を必要とする

児童・生徒が学級通級指導教室の設置数は日田市のニーズに合っているのか。

教育長 自校通級や巡回指導における指導の促進に努めていく必要があると考えている。

質問 県教委に通級指導教室の増設を要望しているのか。

教育長 県教委には、毎年、設置申請をしている。

質問 通級指導教室の増設が期待できないのであれば、日田市

独自で、通常学級における朝の時間やA・ドールの「コマなど

でも認知機能(見る力・聞く力・

記憶力・注意力・想像力)を育てるワークシートを使ったトレーニングを取り入れてはどうか。

教育長 今後の活用については学校現場とも意見交換をしたい。

質問 その他、「日田市地域防災計画」と「教職員の働き方」について質問した。



一般質問

質問

地区防災計画制度について伺う

回答

重要なものであると認識しており、機運の醸成、防災力の向上につなげる



無所属

高倉



貴子 議員

質問 地区防災計画制度について

て、市の認識とこれまでの取組が進まない背景、今後の市民への計画策定支援について問う。

部長 地区防災計画は重要と認識している。これまで自主防災組織の活動などに注力していた。今後はコミュニティタイムライ

ンの作成支援などを通じ、機運醸成につなげ、地域防災力の向上を支援していく。

質問 防災行政無線以外に全市

民へ確実に情報を届ける対策や、地理に不慣れな観光客・外国人への避難支援策と課題を問う。

部長 ホームページ、SNSを活用した複数の手段で情報発信に努めている。

質問 公助と共助をつなぐデジタルツールの活用状況と今後の取組は。

部長 罹災証明発行ではシステムやアプリを導入し期間短縮に努めている。デジタルツールを活用した取組については今後、研究・検討を進めていく。





一般質問

質問

障がい者への工賃向上に向けた取組は？

回答

先進事例の情報収集と事業所間の情報共有に努めたい



新世ひた

居川



太城 議員

質問 障がい者を雇用する施設

の事業所間の工賃について、最高額と最低額には月額約7倍の開きがある。全国を見れば、10万円以上の工賃を実現しているB型事業所もある中で、工賃向上に向けた検討及びモデルケースの調査、研究ができないか伺う。

部長 事業者間でも差があるのが実情である。こうした現状を踏まえ、本市でもB型事業所が工賃向上に向けて、特に生産性向上の観点から取り組みないか他市の先進事例を情報収集しな

がら、事業所間の情報提供に努めていきたい。

質問 農福連携について、宮崎

県小林市の例では、知的障がい者が野菜や果物を栽培、販売し、6次産業化にも挑戦している。市として農福連携をもう一步進めるため6次産業化の後押しに向けた調査、研究はできないか伺う。

部長 他市の先進事例等についても今後調査、研究をしていきたい。



一般質問

質問

小・中学校体育館にはエアコンの導入が必要ではないか？

回答

体育館への空調設備についても検討を急ぐ必要性が生じている



公明党

松野



勝美 議員

質問 小・中学校体育館にはエアコンの導入がどこよりも必要

と思うがどうか。

教育次長 夏場の学校活動にお

けるリスク回避の観点も踏まえ、体育館への空調設備の整備についても検討を急ぐ必要性が生じていると考えている。

質問 避難所にもなっている。

防災の観点からも暑いと分かっているのでもっと取り組んでいただきたい。

教育次長 抜本的な対応として

は、空調設備ということになるうかと思う。

質問 市長は福岡、熊本への通

勤支援の訴えをしていたと思うが、どのような進展があるのか伺う。

市長 高速バスについて、コロ

ナ禍以前の便数への回復を働きかけているが、運転手不足の状況で実現に至っていない。

質問 この他、人口減少対策や

観光振興についてなど質問した。



一 般 質 問

質問

体育館は避難所でもあり、猛暑対策は不可欠。整備をどう進めるのか？

回答

空調設備の設置に向けた検討を指示し財源確保、課題整理に急ぐ



市政クラブ
崎尾 亮介 議員

質問 小中学校体育館の空調設備の整備方針を伺う。

教育次長 国が交付金を創設した。関係各課と検討を進めている。

質問 夏季における運動の機会減少につながり能力の低下が懸念されるがどう考えるか。

教育長 猛暑で体育の授業が制限されているが空調が整備されれば安心して運動ができ、授業

内容の選択肢が増える。学校教育の観点からも空調設備の設置に向けて検討を進める。

質問 教育環境の整備について

の市長の考えを伺う。

市長 エアコンやトイレなど緊急性が高い整備は臨時特例交付金や市債を活用できないか検討する。また、日本一暑い日田で学校体育館に空調がないということには問題意識を持っており、学校ではないが対応可能な分は実施してきた。関係部署に検討を指示しており財源確保や課題整理を進める。



一 般 質 問

質問

見守り付アパートの考えは重要ではないのか？

回答

住宅部局と福祉部局が連携して制度の周知に努める事が大事であると考えている



新世ひた
佐藤 孝彰 議員

質問 広報8月号に掲載の健康づくりアンケートでは、市民の野菜摂取量が極めて低く、運動量も県平均を下回っている。更に検診の受診率も低い。何か対策はないのか。

部長 特定検診の受診率は若干改善傾向があるが、平日の受診の機会が少ない、体調に不安がないので受けない等の風潮がある。休日の検診日の拡充や電話

による受診勧奨を進めていく。

質問 単身高齢者世帯に向けた健康を保つ取組として、見守り付アパートの考えはどうか。

部長 夕食を定期的に配達し、その際に安否確認を実施。民生委員等の見守り活動を通じ必要に応じて、社会との繋がりが交流の機会を増やす取組を行っている。居住サポート住宅については制度の周知に努める。

市長 今後も高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立して日常生活が出来るよう地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んでいく。





一般質問

質問

中央公園の基本理念はどのような内容なのか？

回答

パトリア日田と同様の内容で、4つの基本理念がある



公明党



坂本 茂 議員

質問 中央公園の基本理念はどのような内容なのか。

部長 パトリア日田と同様に、

「市民による市民のための施設」、

「文化のにぎわいのある施設」、

「文化創造の拠点としての施設」、

「まちづくりと情報発信基地としての施設」の4つとなっている。

質問 にぎわいを創出するためには、まちづくり団体との連携が重要であると思うが市の考えを伺う。

部長 今後も、まちづくりグループをはじめ、商店街のにぎわいづくりに取り組む団体と連携し

た取組を進めていきたい。

質問 中央公園のステージに屋根の設置を望む声があるが市の考えを伺う。

部長 設置の必要性和屋根の規模などを確認した上で、費用対効果などについて検討したい。

質問 日田駅南広場に温度計の設置はできないか。

部長 設置場所や費用などについて検討したい。

質問 日田駅南広場に温度計の設置はできないか。



一般質問

質問

今後、生ごみも焼却の方針だが対応はどうするのか？

回答

生ごみ処理機等購入費補助事業に加え生ごみ処理容器支給事業を予定している



市政クラブ

財津 幹雄 議員

質問 新清掃センターを長持ちさせるためには市民の役割もあるのではないかと。

部長 家庭においては、生ごみの水切り、ゴミ袋内に5割ほどある紙布類の分類をして、ゴミ総量の減量をお願いしたい。

質問 観光誘客の取組として、マンホールの蓋を進撃の巨人シリーズをデザインした物に替えはどうか。

部長 聖地として内外からの観光客も多い。提案については著作権の課題など多々あるが設置に向けて検討したい。

質問 観光誘客の取組として、マンホールの蓋を進撃の巨人シリーズをデザインした物に替えはどうか。

部長 聖地として内外からの観光客も多い。提案については著作権の課題など多々あるが設置に向けて検討したい。

質問 観光誘客の取組として、マンホールの蓋を進撃の巨人シリーズをデザインした物に替えはどうか。



質問 市民意識調査では地域活動に参加したい意向の人は半数を越えているようだが、市の認識はどうか。

部長 数字上も平成30年に比べて減っている。自治会加入率も年々微減している現状から市民一斉清掃活動などへの参加促進の啓発などを進めたい。

一 般 質 問

質問

公約にもあげられている通勤支援について伺う

回答

交通事業者への働きかけを行うことで通勤時間帯の利便性向上に繋がると考えられる



市政クラブ

岩見 泉哉 議員

質問 市長は公約で企業誘致を掲げているが水資源、自然環境、立地条件等をどのように結び付けていくのか伺う。

部長 昨年12月に石井工業団地を重点促進地域として設定した。

質問 企業誘致は市長の公約の中で非常に大きな位置を占めていると思う。市民も、公約が達成出来ることを期待している。

市長 私自らトップセールスを行って取組を進めている。

質問 市長の公約である福岡への通勤支援は、日田市に住みたくても、なかなか決断できない

方の為の支援策だが、どうするのか。

部長 交通事業者への働きかけは通勤時間帯の利便性に繋がると考え一定の効果があると思う。

質問 公約に挙げた理由は何か。

市長 仕事の選択肢を増やすための取組の一環として公約に挙げたものである。

質問 この他、農業振興について質問した。



一 般 質 問

質問

一新橋と御幸橋の架け替えは豆田観光に大きな影響が出る。どう考えているのか？

回答

観光バス等の運行のシミュレーションや影響を国と協議する



日本共産党

大谷 敏彰 議員

質問 花月川河川改修と市道の整備はいつまでかかるのか。

部長 2つの橋を架け替えて堤防を引くので令和17年になる。

質問 一新橋の架け替え工事中3年間は、観光バスの乗り入れが制限され、観光客の減で商店にも影響する。どうするか伺う。

部長 国は今後、橋の詳細設計をする中で、観光バスの駐車場や運行のシミュレーションを行い協議するという。警備員が必要であれば配置を国に要望する。豆田観光の影響や対策について市は関係各課合同の会議体

を持ち対応する。

質問 訪問介護事業所の実態調査と事業支援について伺う。

部長 国が中山間地域の加算見直しをしたので従前の単価に戻る。ヘルパーの確保については研修費の一部助成をしている。

質問 この他、物価高騰や最低賃金の上昇に伴う中小企業者支援、また岩手県

のような賃上の支援策について質問した。





一般質問

質問

南海トラフ地震に対する避難計画の状況を伺う

回答

スケジュールの検討を開始し、県と調整しながら作業を進める



市政クラブ

梅原



竜也 議員

質問 日田市地域防災計画の中

に孤立集落が発生した場合の対策の項目が記載されていないが理由を伺う。

部長 令和7年3月に大規模災害に伴う孤立集落対策指針が改定されており、日田市における孤立可能性集落の数が示されており、これらの集落に対する対応も含めて必要な改定を進める。

質問 物資の輸送や被害状況調査などドローンの活用も計画に盛り込む必要があると思うがどうか。

部長 今後、災害対応ではドロー

ンの果たす役割はますます大きくなると認識している。日田市地域防災計画への記載については、県の計画と整合性を図る必要もあり、確認をしながら改定を検討していきたいと考える。

質問 この他、マイナンバーカード、こども誰でも通園制度について質問した。



一般質問

質問

豆田伝建地区の保存と活用について伺う

回答

市民と協力し、未来へ継承できるように全力で取り組む



市政クラブ

宮崎



陽治 議員

質問 豆田町伝統的建造物群保存地区における補助金額の見直しと、復元的修理基準の見直しをどう考えているのか伺う。

部長 修理方法や工法など、制度内容の柔軟化も含め、検討を進める。市民の皆様と協力し、歴史的資産を未来へ継承できるよう、全力で取り組む。

質問 豆田伝建地区の保存と活用について、市長の見識を尋ねる。

市長 観光客の滞在時間の延伸や、保存の在り方については、地元の皆様と市民の皆様とともに

に保存と活用に取り組んでいく。

質問 旅ナ力調査からも豆田町の観光施策は「歴史的町並みの景観頼み」の観光誘客となっており、それ以外には魅力を感じないともとれる。通過型観光からの脱却が必要ではないか。

部長 通過型観光の傾向が見受けられる。宿泊を促進し、地域経済の活性化に繋げていきたい。



報告

**各委員会の
議案等の審査結果**

総務環境委員会

令和7年度日田市一般会計補正予算(専決分)9379万3千円を承認。令和7年度日田市一般会計補正予算12億7968万円を可決

今回の主な歳入の補正(第2号)は、農地等及び鯛生スポーツセンターの応急復旧に対する県支出金などの増額が主なものです。

また、補正予算(第3号)は、養豚環境施設整備事業に対する県支出金などの増額が主なものです。

●日田市職員の勤務時間及び休日休暇等に関する条例の一部改正について

本案は、育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正を踏まえ、子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するための

措置の拡充を行うものです。

条例施行に当たっては、全職員に対し、制度の内容を十分に周知し、該当する職員が職場と家庭生活との両立が図られるよう「情報提供」、「意向確認」及び「配慮」を的確に行うことを要望しました。

●清掃総務費

本事業は、最終処分場の延命化や建設に向けた整備検討を行うに当たり、専門的知見を有する、公益社団法人全国都市清掃会議に入会するため、会員負担金の増額補正を行うものです。

全国都市清掃会議より、様々な助言などをもたらすことで、事業を早期に進めるよう要望しました。



教育福祉委員会

**高齢者エアコン設置支援に
柔軟な運用を求める**

●高齢者エアコン設置支援事業

高齢者の熱中症による健康被害を防ぐため、エアコンがない住宅に住む高齢者のいる非課税世帯に対し、エアコンの購入と設置にかかる費用の一部を補助します(補助限度額9万円)。

市はエアコンの購入と設置にかかる費用を10万円と見込んで予算を計上しています。委員から「エアコンの電源工事が必要になる場合、5万円から10万円の追加工事費がかかる」との指摘があり、自己負担が増える世帯に寄り添った対応を求めました。

また、補助対象には故障により一台もエアコンが使用できない世帯が含まれています。申請後には、担当課職員による訪問調査で確認との説明があり、市民に混乱と疑念を生じさせないよう事業周知に万全を期すよう

要望しました。

●令和7年度日田市国民健康保険特別会計補正予算 及び

●令和7年度日田市後期高齢者医療特別会計補正予算

両議案は、子ども・子育て支援金制度の創設に伴うシステム改修費用を計上するものです。審査の中では、「子ども・子育て支援金制度は、その財源を国民健康保険、後期高齢者医療保険などの被保険者に求めるものとなっており、そもそもの制度設計が間違っている」「子育て支援の財源は、国が捻出すべきもの」との反対意見が出されましたが、採決の結果、賛成多数で可決されました。

高齢者エアコン設置に補助金





産業建設委員会

養豚施設をはじめとした
諸問題の解決に期待する

●養豚環境施設整備事業

本事業は、養豚業者の個別処理施設等の一体的な整備を行うものです。事業者にとっても多額の投資を伴うことから、環境への十分な配慮と安定的かつ持続可能な経営確立のため、行政として施設の維持管理、臭気対策、排水点検のチェック体制構築を検討するよう要望しました。

また、本事業の実施が山田原の臭気問題改善に繋がることを期待しています。

●三和団地住宅大規模改修事業

本事業は、建物の老朽化や入居者の高齢化を踏まえたバリアフリー化等の住環境改善を図るものですが、国の交付金の交付額決定に伴い、減額補正を行うものです。改修工事に遅れが出ることのないよう要望しました。

●体育施設管理費

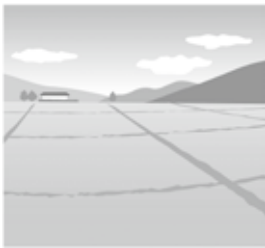
本事業は、建設から年数が経過し設備の老朽化が進む飼生スボーツセンターの浄化槽機器の一部について、緊急で高効率機器への更新を行うものです。

審査の中では「市は定期点検の報告を踏まえた計画的な対策を講じる必要があったのではないか」との意見がありました。

●公共文教施設災害復旧事業

本事業は、本年8月の大雨で被害を受けた重要文化財行徳家住宅の復旧工事を行うものです。

過去にも同じ場所で被害が発生していることから、今後、同様の事象が繰り返されることのないよう、現況調査の結果を踏まえて、雨水や土砂の流入防止対策を改めて検討するよう要望しました。



意見書

次の意見書を採択し、関係機関に送付しました。

●インボイス制度の中止を求める意見書

世界的な物価高が続く中、多くの中小零細企業、個人事業主は利益確保が難しい上に、インボイス登録により消費税の納税負担まで増えている。

また、インボイスの発行・保存・記録の義務は大きな事務的負担となっており、これらの状況から、廃業を検討する事業者も少なくない。

こうした中、全国の地方議会において、インボイス制度の延期や中止を求める意見書の請願が171もの自治体で採択されていることから、次の項目について強く要望するもの。

1. インボイス制度を中止すること。

●地方財政の充実・強化を求める意見書

2026年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を目指すよう、次の11項目について取り組むことを強く要望するもの。

1. 社会保障の充実、地域活性化、デジタル化、脱炭素化、防災・減災、物価高騰対策、地域公共交通の再構築など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握するとともに、それを支える人件費を重視し現行の水準にとどまらない、より積極的な地方財源の確保・充実に努めること。

2. 子育て対策、地域医療の確保、介護や生活困窮者の自立支援など、より高まりつつある社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫していることから、引き続き地方単独事業分も含め、十分な社会保障経費の拡充を図ること。特に、これらの分野を支える人材確



保にむけた自治体の取組を十分に支える財政措置を講じること。

3. 地方交付税の法定率を引き上げるなどし、引き続き臨時財政対策債に頼らない、より自律的な地方財政の確立に取り組むこと。

4. 政府が減税政策を検討する際は、地方財政を棄損することがないよう、あらかじめ「国と地方の協議の場」を活用するなどし、特段の配慮を行うとともに、地方財政への影響が想定される場合は確実にその補填を行うこと。

5. 「地方創生推進費」として確保されている1兆円については、現行の行政需要において不可欠な規模となっていることから恒久的財源としてより明確に位置付けること。また、その一部において導入されている行革努力や取組の成果に応じた算定方法は、標準的な行政水準を保障するという地方交付税制度の趣旨に反する

ことから今後採用しないこと。

6. 会計年度任用職員制度の運用については、2024年度から勤勉手当の支給が可能となったものの、今後も当該職員の処遇改善や雇用確保が求められることから、引き続き所要額の調査を行うなどし、その財政需要を十分に満たすこと。

7. 特別交付税の配分にあたり、諸手当等の支給水準が国の基準を超えている自治体に対して、その取り扱いを理由とした特別交付税の減額措置を行わないこと。

8. デジタル化における自治体業務システムの標準化・共通化については、その移行に係る経費と、移行の影響を受けるシステムの改修経費まで含め必要な財源を補填すること。また、戸籍等への記載事項における「氏名の振り仮名」の追加やマイナンバーカードと健康保険証・運転免許証の一体化など、自治体DXにともな

うシステム改修や事務負担、人件費の増大が想定される際は、十分な財政支援を行うこと。

9. 地域の活性化にむけて、その存在意義が改めて重視されている地域公共交通について、公共交通専任担当者の確保を支援するとともに、こども・子育て政策と同様、普通交付税の個別算定項目に位置付け、一層の施策充実を図ること。

10. 人口減少に直面する小規模自治体を支援するため、段階補正を拡充するなど、地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかること。

11. 自治体の行う事業において、労務費の適切な価格転嫁が果たされるよう必要な財政支援を行うこと。



意見募集

ひた市議会だよりをご愛読いただき、ありがとうございます。議会だよりをご覧になったご意見・ご感想をお聞かせください。いただきましたご意見等は、皆様からの貴重な声として、参考にさせていただきます。

FAX 22-8249

メール gikai@city.hita.lg.jp



第4回(12月)定例会の予定

※日程は変更になる場合があります。

12月 1日(月)	本会議(議案説明)
8日(月)	本会議(一般質問)
~	
10日(水)	本会議(議案質疑)
12日(金)	
15日(月)	委員会(議案審査)
~	
17日(水)	本会議(討論・採決)
19日(金)	



議会のうごき



「住みよい日田市」と「議会のいま」を考える市民懇談会を開催

8月23日(土)に市民懇談会を開催し、約60名の方にご参加いただきました。

市民懇談会では、講演会のほかに「議員定数・議員報酬を考える」をテーマとしたグループワークを行い、皆様から貴重なご意見をいただきました。このご意見を参考に、今後、適正な「議員定数」及び「議員報酬」について、調査・研究を深めていきます。



グループワークの様子

大分県民スポーツ大会 議員ソフトボール競技・ 陸上競技

大分県民スポーツ大会が開催され、9月6日(土)に議員ソフトボール競技、9月14日(日)には陸上競技に参加しました。

議員ソフトボール競技は、対戦相手と互いに点を取り合う激戦が繰り広げられ、攻守ともに光るプレーもありましたが、あと一歩及ばず1回戦で敗退となりました。

陸上競技は、4×100mリレーと100m、ともに5位となり、練習の成果を発揮できました。



試合終了後の集合写真

秋の全国交通安全運動 ―議員が街頭活動―

日田市議会では、毎年春と秋の全国交通安全運動期間中に街頭活動を行っています。

今年も、日田警察署や大分県交通安全協会日田支部のご協力をいただき、秋の全国交通安全運動期間中の9月25日(木)午後5時過ぎから、市役所前交差点で車の運転手や歩行者などに交通事故防止を呼びかけました。



開始式の様子



日田市教育委員会 教育長の任命

次の方を任命することに同意しました。

江嶋 久典氏(誠和町)

日田市教育委員会 委員の任命

次の方を任命することに同意しました。

佐々木 美徳氏(元町)

人権擁護委員の推薦

次の方々を推薦することに同意しました。

田中 孝明氏(丸の内町)

伊藤 伸也氏(丸の内町)

諫山 康子氏(上城内町)

熊谷 久美子氏(新治町)

穴井 征史氏(天瀬町)



令和8年こども議会体験会の開催及び申込開始のお知らせ

昨年度好評であった「こども議会体験会」を、今年度も開催いたします。今後、ホームページなどで詳細をお知らせします。

■ 今回のテーマ

↓「スマートフォン利用のルールをつくること」

■ 日時

↓令和8年2月15日(日)

開始…午後1時30分

終了…午後4時30分予定

■ 場所

↓日田市議会議場(市役所3階)

■ 対象者

↓市内に在住または在学する、原則として小学校4～6年生とその保護者

■ 募集人数

↓12組(親子2名で1組、申込多数の場合は抽選)

■ 申込方法

↓ホームページ、メール、電話、ファックス

① 子どもの氏名(ふりがな)

② 学年

③ 住所

④ 学校名

⑤ 保護者の氏名

⑥ 電話番号

⑦ メールアドレス

⑧ 議長役を希望するか

⑨ 議員に質問したい内容

⑩ テーマに関する意見

申込フォームはこちら



■ 申込期限

↓12月15日(月)まで

特別プログラムとして、
 日田杉バイオリンの演奏会
 を議場にて開催予定です♪



令和7年2月16日(日)に開催された、令和7年こども議会体験会の様子



ホームページのご案内

<http://www.city.hita.oita.jp/shigikai/index.html>

日田市議会では、ホームページを開設しています。このホームページでは、市議会の結果などを掲載するほか、過去の会議録も検索できます。

また、市立淡窓図書館、各振興センター、振興局、地区公民館には、会議録を備えています。9月定例会の会議録は、12月上旬から閲覧することができます。





表紙の皆さん

田来原の森をつくる人たち

老松生産森林組合は、大山町田来原にある山林150ヘクタール(内、杉とヒノキが50ヘクタール、クヌギが100ヘクタール)を所有しています。

組合長の梶原和廣さんは「20年くらい前から森づくりに取り組んでいる。組合員は103人で高齢になっている。森づくりに共鳴する若い人たちの力を活かしたい」と話します。

山林環境モデルをつくりたい

NPO法人「源流の森づくり」(代表・霧野貴士さん)は、人と自然を大切にしながら、森林や里山を保全・再生する活動に取り組んでいます。活動範囲は現在、日田市、東峰村、八女市、小国町。法人のメンバーは11人です。

霧野さんたちは、杉山を伐採し、人の手による植林は行わず、

多種多様な植物の生育を自然に任せる環境林のモデルを田来原につくりたいと考えています。

しかし、老松生産森林組合の杉山は保安林に指定されているため、伐採後の植林が義務付けられています。しかも、植林する樹種が限られています。

組合長の梶原さんは、「霧野さんたちが昨年、伐採した杉山にはクヌギを植える。5年間は下刈りをして補助金をもらう」と話します。

田来原で炭焼きがしたい

矢野雅弘さんは、小国町から大山町に家族で移住。老松生産森林組合の杉山の伐採を請け負うなど、山仕事で生計を立てています。矢野さんは「生活は正直、楽ではない」と話します。

組合長の梶原さん、NPO代表の霧野さん、移住者の矢野さんたち3人は、田来原の森づくりについて話し合いを重ねています。矢野さんが「ここで炭を焼きたい」と移住の動機を話しま

◎市議会だよりのお尋ねは、市議会事務局(☎0282214)へ。市議会だよりは環境に優しい「植物油インク」を使用しています。



環境林モデルの候補として考えていた場所

す。梶原組合長は「高級料理店なんかで売れるね。この前に聞いた県の補助事業が使えるかもしれない」と答えます。すかさず矢野さんが「霧野さんに事業申し込みのリーダーをやってもらおう」と話が進みます。

田来原の環境保安林を使ってどのような森づくりを進めていくか、課題はありますが、世代を超えた交流の輪も広がっています。梶原組合長は「田来原はまだまだポテンシャルがある」と期待を込めています。

編集後記

「源流の森づくり」代表の霧野貴士さんから相談を受けたことがきっかけで、今回の取材となりました。

取材場所は、田来原美しい森づくり公園。そこで梶原組合長と矢野さんのお二人に出会いました。取材を終えると梶原組合長が「来週、福岡市水源林ボランティアの人たちと交流会をするから来んね」とのお誘い。交流会に何つと、福岡市のボランティアの方たちをはじめ、田来原の森づくりに関わる方たちが手作りの料理に舌鼓を打ち、楽しく話していました。これが組合長の言うポテンシャルかと合点がきました。

(議会広報編集委員会委員

日隈 知重)

令和7年8月10日からの大雨により被災されました方々に対し、心からお見舞い申し上げます。市議会といたしましても早期の復旧、復興に努める所存でございます。

日田市議会